

# 入札公告

(説明書)

次のとおり一般競争入札に付します。

令和6年12月11日

社会福祉法人<sup>恩賜</sup>済生会西条病院  
院長 石井 博

## 1. 入札概要

- (1) 件名  
X線透視撮影装置 一式
- (2) 内容  
別紙「仕様書」による
- (3) 納入場所  
済生会西条病院
- (4) 納入期日  
令和7年3月末日

## 2. 参加する者に必要な事項

次に掲げる要件をすべて満たす者であること。

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 参加資格確認申請日から入札実施日までの間、愛媛県知事が行う入札参加資格停止の期間中でない者であること。
- (3) 法人の支部長若しくは支部長の親族(6親等以内の血族、配偶者又は3親等以内の姻族)が役員に就いている業者など、法人の支部長が特別の利害関係を有する業者でないこと。
- (4) 本件の仕様に適合する物品であることを確認できる者であること。
- (5) 本件を納入期日までに納品することが可能な者(確約書要)
- (6) 200床以上の医療機関において業務委託実績を有すること。
- (7) 同一入札に親会社・子会社(会社法第2条第3号及び第4号に規定)の参加があった場合には入札を制限する。

## 3. 本件に関する事項等

- (1) 説明書等の配付場所及び問い合わせ先  
済生会西条病院 事務長 矢野 泰利 又は 用度課(0897-55-5436) 千谷  
愛媛県西条市朔日市269-1  
電話番号 0897-55-5100 FAX番号 0897-55-6766

(2) 説明書及び仕様書の配付

ア 配付期日

令和6年12月11日(水)～令和6年12月23日(月)

イ 配付場所

(1)に同じ。

(3) 入札実施日

ア 日時

令和6年12月25日(水)10時15分～

イ 場所

済生会西条病院 2階講堂

4. その他の必要事項

(1) 本件において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

(2) 保証金

保証金は免除する。

(3) 参加者に要求される事項

本件に参加を希望する者は、事前に参加資格確認申請書を提出すること。

なお、当該申請書の内容に関し、説明を求められた場合は、これに応じなければならない。

・提出書類

**【12月23日(月)までに提出する書類】**

参加資格確認申請書

登記簿謄本(写し)もしくは、官公庁入札参加証明書(写し)

直近年度分決算書(書式自由)

受託業務実績一覧

資本関係・人的関係書

**【12月25日(水) 当日持参する書類】**

委任状(代理人の場合のみ)

入札書(3ヶ所に割印・糊つけ封印した入札書用封筒に入れたもの)

入札書・封筒の予備(2回目以降分)

名刺

・提出先 3-(1)と同様

(4) 入札の無効

2に掲げる資格を有しない者が参加した場合

参加者に求められる義務を履行しなかった者が参加した場合

説明書に違反した場合

(5) 契約書作成の要否

要 契約に至った場合には速やかに契約書を作成すること。

(6) 落札者の決定方法

予定価格の範囲内で、最低価格を提示した者を落札者とする。

予定価格の範囲内の価格での入札がないときは、再度の入札を行う。(再度入札は最低価格を下回る金額を提示のこと。最低価格を下回る入札ができない場合は辞退となる。) 入札回数は3回を限度とし、予定価格の範囲以内にて同額の提示があった場合にはくじ引きにて決定する。落札しない場合においては、最低価格提示者との見積もり協議に移行する。

(7) お願い

入札時、状況写真をとらせていただきます。目的を保管用としており目的以外に使用いたしませんのでご了承ください。

# 済生会西条病院 X線透視撮影装置 仕様書

## 1. 調達物品名称及び数量

(1) 物品名 X線透視撮影装置

(2) 構成内容及び数量

<X線透視撮影装置>	1式
X線透視撮影台	1式
X線高電圧発生装置及びX線制御装置	1式
X線管装置	1式
X線検出器	1式
モニタ	1式
画像処理装置 (DR システム)	1式

## 2. 納入場所

愛媛県西条市朔日市 269-1  
社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院

## 3. 納入期限

令和7年3月末日

## 4. 機器設置条件

- (1) 納入者は、病院担当者に作業実施計画書を提出し、承認を受けた作業実施計画に基づき、指定された日時及び方法により機器を納入・設置すること
- (2) 機器の納入・設置にあたり、必要な工事等（調達物品を有効に稼働させる為に生じる本体工事変更を含む）は全て納入業者の負担により行うものとする
- (3) 機器の納入・設置及びその期日については、病院担当者と詳細に協議のうえ行うものとする
- (4) 機器納入・設置に際して養生等が必要な場合は納入者が養生設置を行うこと
- (5) 既存装置の撤去及び廃棄については納入者が責任を持って安全・確実に実施すること
- (6) 納品及び調整完了後は、速やかに当院の指定する者の検収を受け、機器の引き渡しを行うこと。
- (7) 機器納入・設置の際に建物等を破損等した場合は、病院担当者に報告し、速やかに補修を行うこと（納入者は補修に係る費用を負担すること）
- (8) 建物に固定する機器にあつては、十分な耐震対策を講じること
- (9) 障害発生後速やかに対応できる体制が整っていること。
- (10) 医療法施行規則に定められた届出書の作成にあたっては資料提供に協力すること
- (11) 画像サーバー等必要な接続費用を含むこと。

## 性能、機能に関する要件

- 1 X線透視撮影台は以下の要件を満たすこと。
- 1-1 オーバーチューブ方式であること。
- 1-2 寝台は昇降式であり、寝台水平位置で垂直方向に 690mm~950mm の範囲での可動が可能なこと。
- 1-3 寝台起倒範囲は水平位置から、+90° ~-30° までの範囲で動くこと。
- 1-4 寝台の起倒速度は、最大 6° /秒で動くこと。
- 1-5 寝台の動作はソフトスタート・ソフトストップ方式であること。
- 1-6 映像系の移動速度は 5cm/秒以上であること。
- 1-7 天板の大きさは、縦方向 210cm 以上、横方向 79cm 以上であること。
- 1-8 天板横手方向移動距離は 22cm 以上であること。又は、同等の機能を有すること。
- 1-9 映像系の斜入が+30° ~-30° の範囲で可能であること。
- 1-10 天板の耐荷重は 135kg 以上であること。
- 1-11 天板はフラットタイプであること。
- 1-12 寝台側面に映像系、天板を動かせるボタンが搭載されていること。
- 1-13 体軸方向の映像系移動距離は 90cm 以上の範囲で可能なこと。
- 1-14 嚥下検査のため、フラットパネルディテクタ (FPD) と焦点間距離 (SID) は 150 c m以上が可能であること。
- 1-15 一般撮影装置の故障時のバックアップとして SID150cm にて 17 インチ FPD を利用した胸部撮影が可能であること。
- 1-16 被ばく低減のため、グリッドの着脱が可能であること。
- 1-17 バリウムカップ受けを有すること。
- 1-18 肩当てを有すること。
- 1-19 圧迫筒を有すること。
- 1-20 踏み台を有すること。
- 1-21 握り棒を有すること。
- 1-22 天板マットを有すること。
- 1-23 マイク・スピーカセットを有すること。
- 1-24 遠隔操作卓に、画像の上下左右反転の機能を有すること。
- 1-25 近接操作卓を備え、可動して近接操作が行えること。
- 1-26 近接操作卓は、近接用の操作卓とモニタは分離型であること。
- 1-27 近接操作卓は、透視及びデジタル撮影が可能であること。
- 1-28 標準 SID は 110cm 以上であること
- 1-29 遠隔操作卓は画像処理制御キャビネットは、横幅 90 cm以下であること。
- 1-30 検査室内に配置するキャビネットはスペースを考慮し 1 つであること。

- 2 X線高電圧発生装置及びX線制御装置は以下の要件を有すること。
  - 2-1 発生方式はインバーター方式であること。
  - 2-2 最大定格出力は、50kW 以上であること。
  - 2-3 撮影時の最大管電圧は、150kV 以上であること。
  - 2-4 撮影時の最大管電流は、630mA 以上であること。
  - 2-5 撮影時の最短撮影時間は、1msec 以下であること。
  - 2-6 透視条件から撮影条件が自動設定できる機能を有すること。
  - 2-7 撮影の自動露出機能（AEC）を有すること。
  - 2-8 透視の自動輝度調整機能（IBS）を有すること。
  - 2-9 故障診断機能を有し、エラーコードが表示されること。
  
- 3 X線管装置は以下の条件を満たすこと。
  - 3-1 最大陽極蓄積熱容量は、400kHU 以上であること。
  - 3-2 透視下での撮影までの最短時間（F/R タイム）は 1.5 秒以下であること。
  - 3-3 HU 表示が可能であること
  
- 4 X線絞りは、以下の要件を満たすこと。
  - 4-1 X線コリメータ操作部は、マニュアル絞り操作が可能であること。
  - 4-2 X線コリメータの照射野ランプは LED であること。
  - 4-3 X線コリメータは 3 種類以上の軟 X線除去フィルターを有し、各検査に合わせて最適なフィルターが自動挿入されること。
  - 4-4 X線コリメータの表示部は液晶式モニタを搭載し、選択フィルタや照射野サイズ、選択 SID を確認できること。
  - 4-5 X線を照射せずにラストイメージホールド画像上で絞り位置調整ができること（バーチャルコリメーション機能）を有すること
  
- 5 モニタ・近接操作卓は以下の要件を満たすこと。
  - 5-1 操作室に 19 インチ以上のモニターを 2 台を有すること。
  - 5-2 検査室に 19 インチ以上のモニターを 2 台を有すること。
  
- 6 X線検出器は以下の要件を満たすこと。
  - 6-1 フラットパネルディテクタを搭載していること。
  - 6-2 最大視野サイズは、17 インチ×17 インチ以上であること。
  - 6-3 画素サイズは、160 $\mu$ m 以下であること。
  - 6-4 視野サイズは 5 視野以上設定できること。
  - 6-5 シンチレータは CsI であること。
  - 6-6 FPD の濃度分解能は 16bit 以上であること。

- 7 画像処理装置（DR システム）は以下の要件を満たすこと。
- 7-1 画像処理装置の OS は Windows10 以上のバージョンを採用していること。
- 7-2 透視モードは、連続透視に加えパルス透視が可能なこと。
- 7-3 パルス透視は 5 種類以上の選択が可能であり、検査中に操作卓で切り替えが可能であること。
- 7-4 透視画像の保管ができること。連続記録可能なフレーム数は最大で 950 フレーム以上の設定が可能であること。
- 7-5 透視マトリクス 1024×1024 以上、12 ビットのモードで、15 枚/秒のパルス透視が可能なこと。
- 7-6 撮影マトリクス 1024×1024 以上、12 ビットのモードで、15 枚/秒以上の撮影が可能なこと。
- 7-7 撮影モードでは、単発撮影、連続撮影、分割撮影が可能なこと。
- 7-8 ラストイメージホールド機能を有していること。
- 7-9 表示画像の自動諧調補正機能を有すること。
- 7-10 濃度調整が可能なこと。
- 7-11 コントラスト調整が可能なこと。
- 7-12 ズーム機能を有すること。
- 7-13 白黒反転機能を有すること。
- 7-14 左右上下反転機能を有すること。
- 7-15 マルチ表示が可能なこと。
- 7-16 DICOM 通信機能として、Storage、MWM、MPPS、RDSR に対応していること。
- 7-17 画像保管システムとして、SSD を装備し、収集データは直接書き込まれること。
- 7-18 システム起動時間は 210 秒以内であること

8 付属品として以下の準備をすること。

- 8-1 防護エプロン マエダ社 MSA 型 防護衣（シンプルエプロン 0.25mmpb L サイズ）3 式
- 8-2 防護エプロン マエダ社 MSA 型 防護衣（シンプルエプロン 0.25mmpb M サイズ）3 式
- 8-3 既設アストロステージ社 Pacs と DICOM Storage・DICOM MWM 接続を行うこと。

9 その他

- 9-1 納入検査確認後 1 年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。
- 9-2 操作マニュアルは日本語版を提供し、取り扱い説明に関する教育訓練は、本院が指定する日時・場所で行うこと
- 9-3 検収の際は、発注したメーカー名・規格・シリアルナンバー等が明確に確認できるものを用意すること。
- 9-4 契約書作成に係る費用、銀行振込手数料は受注者にて負担すること
- 9-5 この仕様書に定めない事項または疑義を生じた場合は、双方協議のうえその都度決定すること。